

■目次■

目次・はじめに	1
ご検討からご参加までの流れ	2
参加検討～参加申込【ご参加形態別】	3-15
申込後～プログラム開始	16
プログラム開始後の流れ	17
TFT事務局からの定期的なご案内について	18

■はじめに■

TABLE FOR TWOとは

Mission: 世界の食の不均衡を解消する

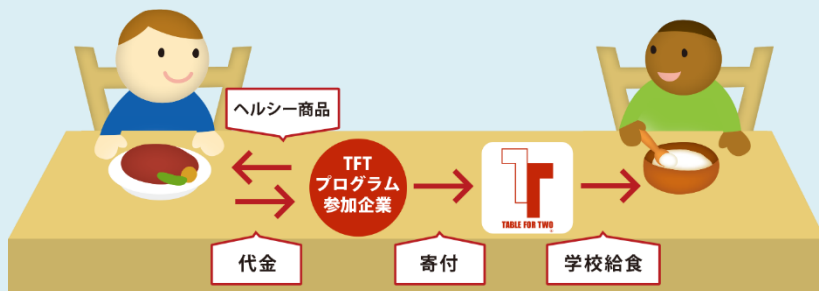
世界の80億人の人口のうち、8億人が飢えに喘ぐ一方で、20億人が肥満など食に起因する生活習慣病に苦しんでいます。TABLE FOR TWO International（以下、TFT）は、この深刻な食の不均衡を解消するための活動に取り組んでいます。

Solution: 先進国で1食とるごとに 開発途上国に1食が贈られる

対象となる定食や食品をご購入いただくと、1食につき20円の寄付金がTFTを通じて開発途上国の子どもの学校給食になります。20円というのは、開発途上国の給食1食分の金額です。つまり、先進国で1食とるごとに開発途上国に1食が贈られるという仕組みです。

Concept: ふたりの食卓

TABLE FOR TWOという名前に私たちが込めた思いは、「たとえ地球の裏側に住んでいようとも、相手を思いやる心があれば距離は縮まり、まるで一つの食卓を囲むように心を寄せあうことができる」ということです。アフリカの子どもたちと時間と空間を越えて食卓を囲み、食事をともにすることで、子どもたちの国における食料問題に思いを馳せ、彼らの国の現状を身近に感じて頂きたいと思っています。



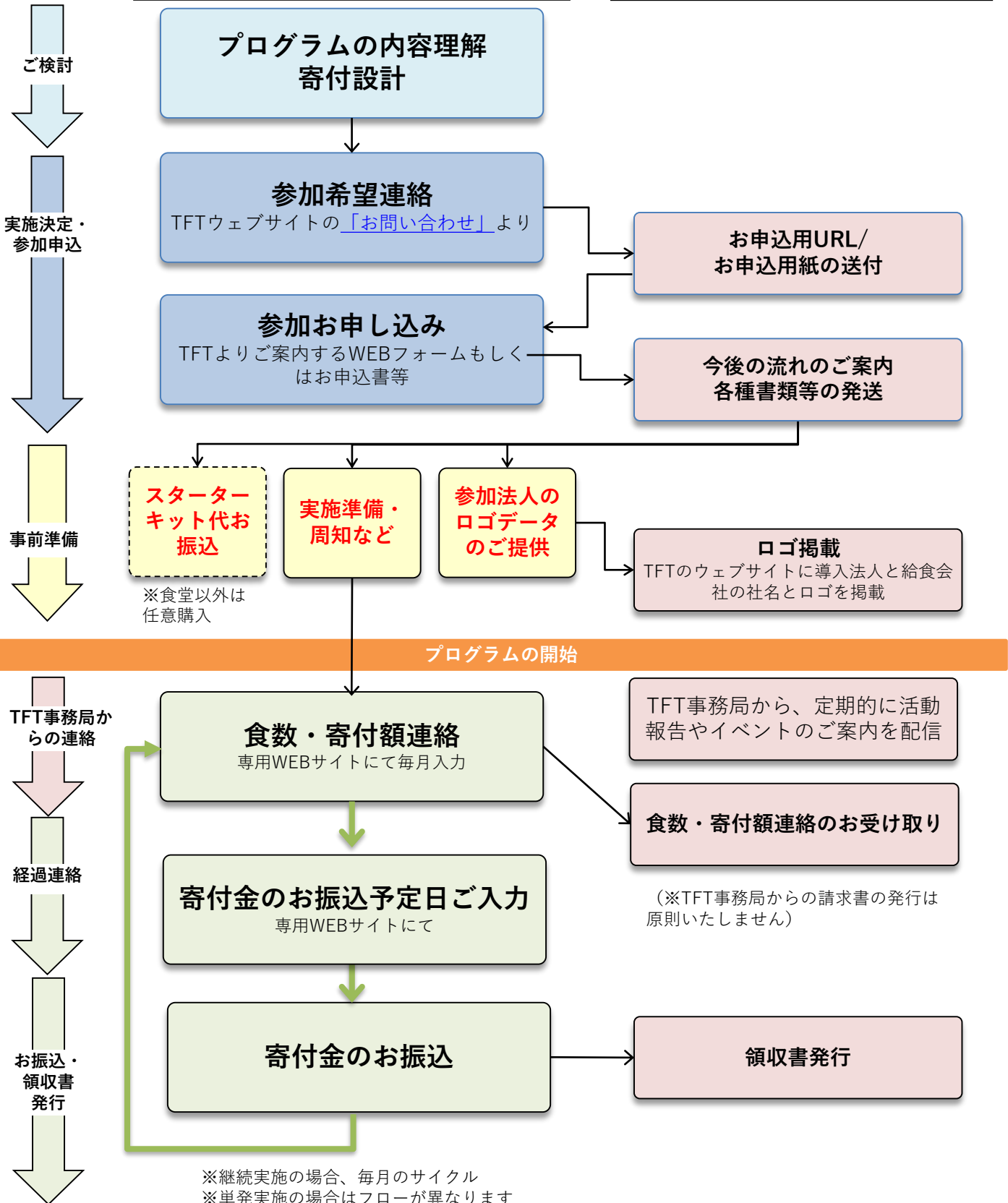
団体の活動内容やTFTプログラムの最新情報については、下記をご参照ください：

- ◆ TFTの活動内容・支援先 <https://jp.tablefor2.org/activity/>
- ◆ TFTの団体概要 <https://jp.tablefor2.org/about/organization/>
- ◆ 定期レポート <https://jp.tablefor2.org/about/report/>

■ ご検討から実施までの流れ（全参加形態共通） ■

TFTプログラム導入法人・参加法人（給食会社・自販機管理会社・健保組合など）

TABLE FOR TWO 事務局



■参加検討～参加申込■
ご検討中の参加形態に合わせてガイドをご確認ください

※食品での導入をTABLE FOR TWOプログラム（TFT）、飲料での導入をCUP FOR TWOプログラム（CFT）としております。

※当てはまる分類が見つからない場合やイベント等で実施を希望される場合は、事務局までお問い合わせください。

TABLE FOR TWO 事務局

お問い合わせフォーム：<https://jp.tablefor2.org/contact/#Business>

社内での導入〔自販機以外〕
※学内も同様

- ・ 社内食堂でのTFTプログラム
- ・ 社内売店でのTFTプログラム
- ・ 社内カフェでのCFTプログラム
- ・ 社内売店でのCFTプログラム
- ・ 社内での寄付つきお弁当販売

p.4～6, p.16～18
をお読みください

自販機での導入

- ・ 自動販売機でのCFTプログラム

p.7～9, p.16～18
をお読みください

一般向け外食店での導入

- ・ 外食店でのTFTプログラム
- ・ お弁当でのTFTプログラム

p.10～11, p.16～18
をお読みください

心と体の健康増進プログラム

- ・ 寄付つきウォーキングイベント
- ・ 褒め活による寄付
- ・ 健康ポイントによる寄付

p.14～18
をお読みください

一般向け商品での導入

- ・ 小売り商品でのご参加
- ・ 宅配サービスでのご参加

p.12～13, p.16～18
をお読みください

◆ 食堂・カフェテリア・売店でのTFT/CFTプログラムの導入・実施には、下記のような関係法人のご協力が必要になります

※以下、CFTプログラムをご検討中の場合はTFTプログラムをCFTプログラムと読み替えてください。

(1) TFTプログラム導入法人

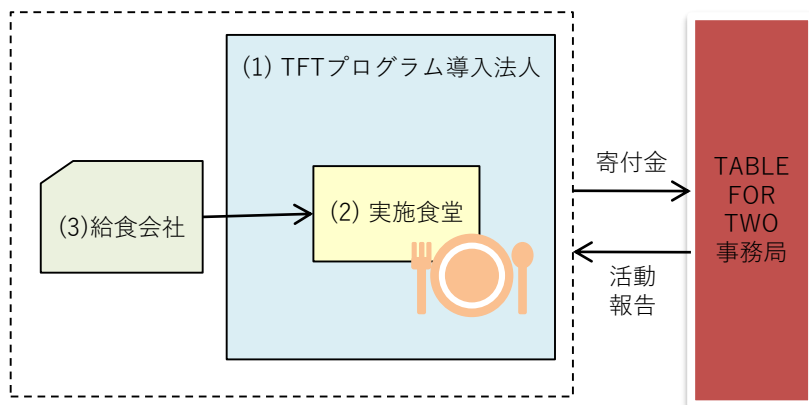
社員や学生等、利用者向けにTFTプログラムを導入する法人（企業、団体、学校等）

(3) 実施食堂（カフェ・売店含む）

TFTプログラムを導入する食堂

(3) 給食会社

運営を委託されている会社



※ 参加申込は、(1)、(2)、(3)のどのお立場からでもご提出いただけます。

◆上記(1)~(3)ご担当者間で以下をご決定ください。

①TFTヘルシーメニュー/対象商品の決定

②寄付の方式と収集・管理方法

① TFTヘルシーメニュー/対象商品の決定

ガイドラインに沿ったヘルシーメニュー/商品をご検討ください。
新規に考案いただく場合と、既存のものをTFTメニューとして採用いただく場合があります。

ガイドラインは提供商品により異なります。次ページでご確認ください。

TFTメニューガイドライン

(1～3のいずれかを満たすもの)

1. 一食あたりのカロリーが、通常よりやや低く抑えられている*

- ・デスクワークが主な職場：680～800kcal
- ・工場や軽作業を伴う職場：720～870kcal

2. 栄養のバランスがとれている

3. 野菜を多く含む

ドリンクメニューのガイドライン

(以下のいずれかを満たすもの)

- ー 糖分ゼロのドリンク
- ー カロリーゼロ、または、通常商品より最低でも30%以上カロリーカットの工夫がされたドリンク
- ー 野菜・果汁100%のドリンク
- ー スポーツドリンク
- ー メーカーによる健康機能表示を持つドリンク
- ー 日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材を含むドリンク
- ー 健康に配慮したドリンク



*厚生労働省の定める「日本人の食事摂取基準」を参照。一日の運動量により幅があります。

ヘルシー食品のガイドライン<売店等商品>

(1～3のいずれかを満たすもの)

1.生活習慣病やメタボリックシンドローム改善に役立つようなヘルシー素材や、カロリーダウンの工夫を含んでいる

(※1)

2.食糧問題の改善に結び付くような素材や工夫を含んでいる

(※2)

3.日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材や工夫を含んでいる (※3)

※注※ お弁当などの定食メニューの場合、一食あたり、約730kcal (680～800kcalの間)



※1.「生活習慣病やメタボリックシンドローム改善に役立つようなヘルシー素材、または工夫を含んでいる」とは？

油分カット／塩分カット／カロリーダウン等の工夫を採り入れていただきます。

(低脂肪素材の活用、主食の量やサイズを選べる、ドレッシングやソースを別添えにする、など)

下記のような効果を謳われる素材を、積極的に食べられるメニューを採り入れていただきます。

青魚（中性脂肪・コレステロールを下げる）／緑黄色野菜（尿酸値を下げる）／お酢・食物繊維（血糖値を上げにくい）等。

※2「食糧問題の解決に結び付くような素材、または工夫を含んでいる」とは？

積極的に地元の産物や国産素材を使用／輸入素材をなるべく国産素材に変更／肉類に代えて積極的に豆類を使用する、などを採り入れたメニューが挙げられます。フードマイレージの削減や自給率の向上につながります。通常は廃棄されていた食材（おからなど）を活用したメニューも挙げられます。食糧廃棄の問題改善につながります。

※3「日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材、または工夫を含んでいる」とは？

野菜や食物繊維／カルシウム／鉄分／カリウム／EPA, DHAなどを含む食品が、積極的に食べられるメニューを採り入れていただきます。これらは「日本人の食事摂取基準（厚生労働省）」などで、日本人の食生活に足りないと思われる成分です。

② 寄付の方式と収集・管理方法

寄付の方式

寄付金額は1食につき20円（※）で、開発途上国の学校給食1食分に相当します。

1.利用者方式：1食につき20円の寄付金を加算した代金を、利用者が支払う

2.法人/団体方式：1食につき20円を、導入法人から寄付していただく

3.マッチング方式：1食につき10円を利用者から、10円を導入法人から寄付していただく

（※）20円を基本としていますが、単価の低い商品などは相談可

なお、TABLE FOR TWOは東京都より認定を受けた特定非営利活動法人で、**後述の(2)の場合を除き**ご寄付は寄付金控除の対象となります。

(1)ご寄付元が法人で寄付金として計上されている場合は、領収書の宛名に記載された法人の寄付金控除対象となります。

(2)ご寄付の負担者がTFTメニューや商品の購入者や利用者で、かつ預かり金処理をする場合は、寄付金控除の対象となりません。

また、p.17の◆領収書の発行をご確認ください。

寄付金の収集と管理

利用者からの寄付金：代金精算の際に受領してください。現金、プリペイドカード、食券、給与天引など、様々な決済方式で導入いただいています。寄付金は売上とは別に管理をお願いいたします。

法人/団体からの寄付金：販売数を月末に確定し、販売数に20円をかけた金額をTFT指定口座へお振込みいただきます。

◆お申し込み

- ご参加が決定しましたら、[こちら](#)から、ご参加を希望される旨ご連絡ください。その際、食堂・カフェ・売店等、参加形態をお知らせください。
- ご質問がある場合も、上記のお問い合わせページをご利用ください。
- ご連絡をいただきましたら、参加申込ページのURLをご案内いたします。
- 開始1ヶ月前くらいのタイミングでのお申し込みを推奨しています。

参加申し込み後のご案内は[p.16以降](#)をご確認ください

◆ 自販機でのCFTプログラムの導入・実施には、下記のような関係法人のご協力が必要になります

(1) CFTプログラム導入法人

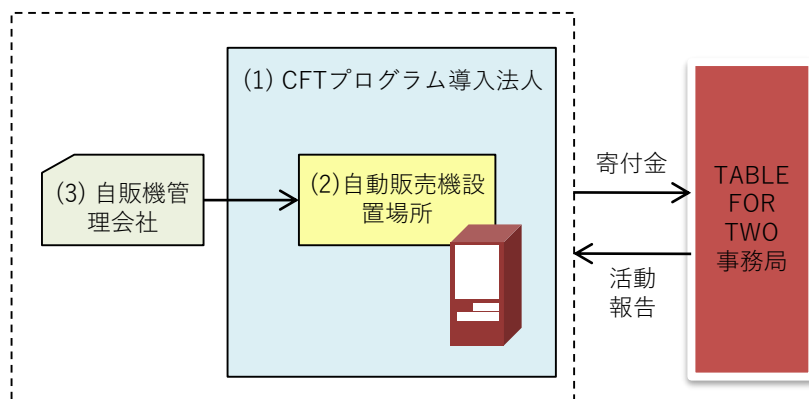
社員や学生等、利用者向けにCFTプログラムを導入する法人（企業、団体、学校等）

(2) 自動販売機設置場所

CFTプログラムを導入する自動販売機が設置されている場所（例：本社4階休憩室、XX工場 喫煙所）

(3) 自販機管理会社

自動販売機の管理を委託されている会社（オペレーター、ベンダー）



※ 参加申込書は、(1)CFTプログラム導入法人、(3)自販機管理会社のどちらからでもご提出いただけます。

◆上記(1)~(3)ご担当者間で以下をご決定ください。

①寄付対象商品の決定

②寄付額・率の設定、寄付の方式と収集・管理

① 寄付対象商品の決定

寄付対象となる商品をご決定ください。啓発性を重視し、自販機丸ごと1台を対象とすることも可能です。以下のドリンクメニュー例は必須条件ではございませんが、ぜひ参考にしてください。

ドリンクメニュー例

- － 糖分ゼロのドリンク
- － カロリーゼロ、または、通常商品より最低でも30%以上カロリーカットの工夫がされたドリンク
- － 野菜・果汁100%のドリンク
- － スポーツドリンク
- － メーカーによる健康機能表示を持つドリンク
- － 日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材を含むドリンク（※）
- － 健康に配慮したドリンク

※「日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材、または工夫を含んでいる」とは？

野菜や食物繊維／カルシウム／鉄分／カリウム／EPA, DHAなどを含む食品が、積極的に食べられるメニューを採り入れていただきます。これらは「日本人の食事摂取基準（厚生労働省）」などで、日本人の食生活に足りないと言われる成分です。

② 寄付額・率の設定、寄付の方式と収集・管理

寄付額・率の設定

対象飲料が販売された際の、寄付額・率をご設定ください。

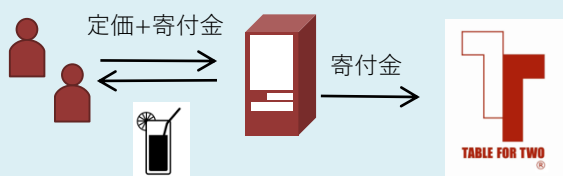
対象飲料1本あたり●●円、もしくは、売上の●%、といったかたちで設定をお願いいたします。

※食事の場合20円/食でお願いしていますが、自販機の場合は単価が低いため任意で設定していただいています。寄付金額は、合計20円につき開発途上国の学校給食1食分に相当します。

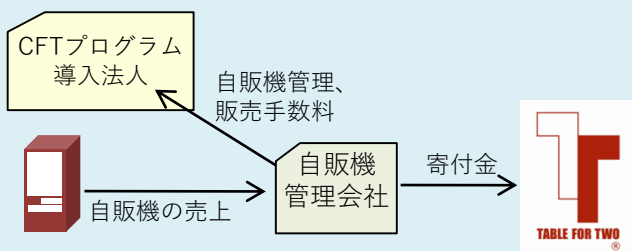
寄付の方式

※寄付金のお振込は、CFTプログラム導入法人、もしくは自販機管理会社のいずれかからお願いいたします。

利用者寄付方式： 対象飲料の売価を「従来の売価 + 寄付額」とし、利用者に寄付していただく



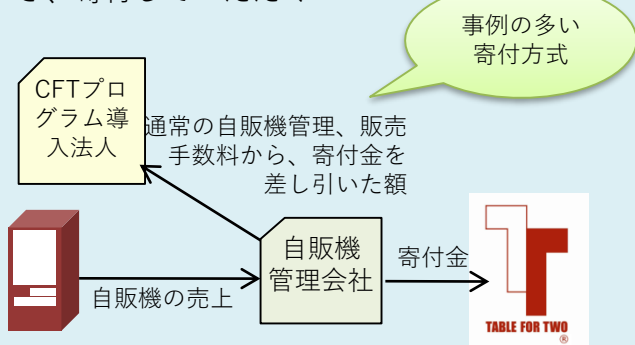
自販機管理会社寄付方式： 定めた寄付額・率に応じた寄付金を、自販機管理会社から寄付していただく



CFTプログラム導入法人寄付方式：

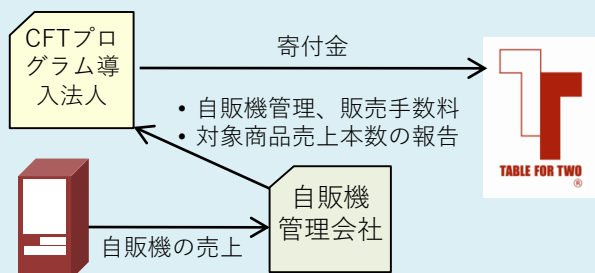
(A) 自販機管理会社振込

自販機の設置手数料から、寄付金分を差し引き、寄付していただく



(B) 導入法人振込

CFTプログラム導入法人から売上本数に応じて寄付していただく



マッチング方式：

上記のいずれか、もしくは全ての組み合わせ

なお、TABLE FOR TWOは東京都より認定を受けた特定非営利活動法人で、**後述の(2)の場合を除き**ご寄付は寄付金控除の対象となります。

(1)ご寄付元が法人で寄付金として計上されている場合は、領収書の宛名に記載された法人の寄付金控除対象となります。

(2)ご寄付の負担者が寄付つきドリンクや商品の購入者で、かつ預かり金処理をする場合は、寄付金控除の対象なりません。

また、p.17の◆領収書の発行をご確認ください。

◆お申し込み

- ご参加が決定しましたら、[こちら](#)から、自販機でご参加を希望される旨ご連絡ください。
- ご質問がある場合も、上記のお問い合わせページをご利用ください。
- ご連絡をいただきましたら、参加申込書をご案内いたします。
- 開始1ヶ月前くらいのタイミングでのお申し込みを推奨しています。

参加申し込み後のご案内は[p.16以降](#)をご確認ください

◆自販機の装飾やご利用者へのコミュニケーションをご準備ください

CFTプログラムの概要説明、仕組み図ポスターを小窓に設置するなど、自販機の利用者様へのコミュニケーションをお願い致します。

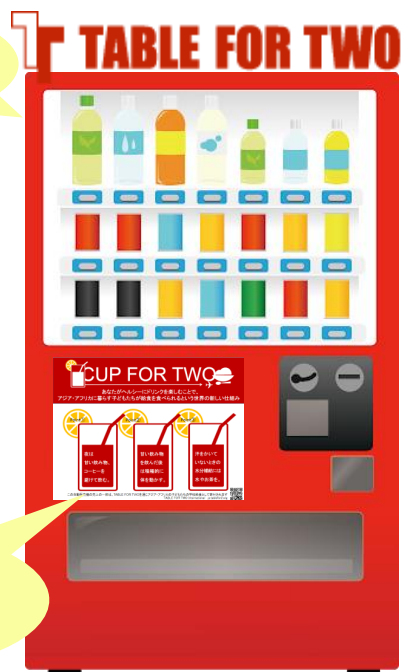
<自販機装飾・コミュニケーション例>

トップに
ロゴを設置

自動販売機1台をTFT対象とする場合、下記のようなポスターで「ヘルシーにドリンクを楽しむ」方法を掲示していただくなどの工夫をお願いしております。



小窓に
ポスターを設置



◆TFTプログラムの実施に際して、最初にご検討いただきたい点

- ①ご提供いただくTFTヘルシーメニューの作成
- ②寄付の方式と収集・管理方法

① TFTヘルシーメニューの作成

外食産業におけるTFTメニューの2つのテーマ

- 生活習慣病やメタボリックシンドロームの改善
- 食糧問題（食品輸入、食糧自給率、食糧廃棄など）の改善

お食事メニューのガイドライン

【お食事メニュー】

1～3のいずれかを取り入れたメニューを作成ください。
既にあるメニューを調整頂いても結構です。

- 1.生活習慣病やメタボリックシンドローム改善に役立つようなヘルシー素材や、カロリーダウンの工夫を含んでいる（※1）
- 2.食糧問題の改善に結び付くような素材や工夫を含んでいる（※2）
- 3.日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材や工夫を含んでいる（※3）

※注※ お弁当などの定食メニューの場合、
一食あたり、約730kcal（680～800kcalの間）



ドリンクメニューのガイドライン

【ドリンクメニュー】

（以下のいずれかを満たすもの）

- － 糖分ゼロのドリンク
- － カロリーゼロ、または、通常商品より最低でも30%以上カロリーカットの工夫がされたドリンク
- － 野菜・果汁100%のドリンク
- － スポーツドリンク
- － メーカーによる健康機能表示を持つドリンク
- － 日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材を含むドリンク
- － 健康に配慮したドリンク



※1.「生活習慣病やメタボリックシンドローム改善に役立つようなヘルシー素材、または工夫を含んでいる」とは？

油分カット／塩分カット／カロリーダウン等の工夫を採り入れていただきます。

（低脂肪素材の活用、主食の量やサイズを選べる、ドレッシングやソースを別添えにする、など）

下記のような効果を謳われる素材を、積極的に食べられるメニューを採り入れていただきます。

青魚（中性脂肪・コレステロールを下げる）／緑黄色野菜（尿酸値を下げる）／お酢・食物繊維（血糖値を上げにくい）等。

※2「食糧問題の解決に結び付くような素材、または工夫を含んでいる」とは？

積極的に地元の産物や国産素材を使用／輸入素材をなるべく国産素材に変更／肉類に代えて積極的に豆類を使用する、などを採り入れたメニューが挙げられます。フードマイレージの削減や自給率の向上につながります。

通常は廃棄されていた食材（おからなど）を活用したメニューも挙げられます。食糧廃棄の問題改善につながります。

※3「日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材、または工夫を含んでいる」とは？

野菜や食物繊維／カルシウム／鉄分／カリウム／EPA、DHAなどを含む食品が、積極的に食べられるメニューを採り入れていただきます。これらは「日本人の食事摂取基準（厚生労働省）」などで、日本人の食生活に足りないといわれる成分です。

② 寄付の方式と収集・管理方法

寄付の方式

寄付金額は1食につき20円（※）で、開発途上国の学校給食1食分に相当します。

1.利用者方式：1食につき20円の寄付金を加算した代金を、利用者が支払う

2.法人/団体方式：寄付金20円をメニュー代金に含めず、導入法人（ご参加飲食店）にご負担いただいて、寄付していただく

3.マッチング方式：1食につき10円を利用者から、10円を導入法人から寄付していただく

（※）20円を基本としていますが、単価の低い商品などは相談可

なお、TABLE FOR TWOは東京都より認定を受けた特定非営利活動法人で、**後述の(2)の場合を除き**ご寄付は寄付金控除の対象となります。

(1)ご寄付元が法人で寄付金として計上されている場合は、領収書の宛名に記載された法人の寄付金控除対象となります。

(2)ご寄付の負担者がTFTメニューや商品の購入者や利用者で、かつ預かり金処理をする場合は、寄付金控除の対象となりません。

また、p.17の ◆ 領収書の発行 をご確認ください。

寄付金の収集と管理

利用者からの寄付金：代金精算の際に受領してください。寄付金は売上とは別に管理をお願いいたします。

法人/団体からの寄付金：販売数を月末に確定し、販売数に20円をかけた金額をTFT指定口座へお振込みいただきます。

◆お申し込み

- ▶ ご参加が決定しましたら、[こちら](#)から、外食店でのご参加を希望される旨ご連絡ください。
- ▶ ご質問がある場合も、上記のお問い合わせページをご利用ください。
- ▶ ご連絡をいただきましたら、参加申込ページのURLをご案内いたします。
- ▶ 開始1ヶ月前くらいのタイミングでのお申し込みを推奨しています。

参加申し込み後のご案内は[p.16以降](#)をご確認ください



外食店でのご参加が広がっています



全国チェーンのレストランやカフェ、ホテルに併設のレストラン、観光地の食事処、地元 に根ざしたレストランや喫茶店等、様々な形態の外食店の皆さまにTFTプログラムを導入いただいています。皆さまの工夫で、様々なメニューが提供されています。

◆TFTプログラムの実施に際して、最初にご検討いただきたい点

①（食品の場合）ご提供いただくTFTヘルシー食品の開発や選定

②寄付の方式と収集・管理方法

※食品以外でのご参加も可能です。TFT事務局までご相談ください

① TFTヘルシー食品の開発や選定

TFT商品には、2つのテーマによるガイドラインを設けております。

- 生活習慣病やメタボリックシンドロームの改善
- 食糧問題（食品輸入、食糧自給率、食糧廃棄など）の改善

ヘルシー食品のガイドライン

1～3のいずれかを取り入れたメニューを作成ください。

既にあるメニューを調整頂いても結構です。

- 1.生活習慣病やメタボリックシンドローム改善に役立つようなヘルシー素材や、カロリーダウンの工夫を含んでいる（※1）
- 2.食糧問題の改善に結び付くような素材や工夫を含んでいる（※2）
- 3.日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材や工夫を含んでいる（※3）



ドリンクメニューのガイドライン

ドリンクメニュー

（以下のいずれかを満たすもの）

- － 糖分ゼロのドリンク
- － カロリーゼロ、または、通常商品より最低でも30%以上カロリーカットの工夫がされたドリンク
- － 野菜・果汁100%のドリンク
- － スポーツドリンク
- － メーカーによる健康機能表示を持つドリンク
- － 日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材を含むドリンク
- － 健康に配慮したドリンク



※1.「生活習慣病やメタボリックシンドローム改善に役立つようなヘルシー素材、または工夫を含んでいる」とは？

油分カット／塩分カット／カロリーダウン等の工夫を採り入れていただきます。

（低脂肪素材の活用、主食の量やサイズを選べる、ドレッシングやソースを別添えにする、など）

下記のような効果を謳われる素材を、積極的に食べられるメニューを採り入れていただきます。

青魚（中性脂肪・コレステロールを下げる）／緑黄色野菜（尿酸値を下げる）／お酢・食物繊維（血糖値を上げにくい）等。

※2「食糧問題の解決に結び付くような素材、または工夫を含んでいる」とは？

積極的に地元の産物や国産素材を使用／輸入素材をなるべく国産素材に変更／肉類に代えて積極的に豆類を使用する、などを採り入れたメニューが挙げられます。フードマイレージの削減や自給率の向上につながります。

通常は廃棄されていた食材（おからなど）を活用したメニューも挙げられます。食糧廃棄の問題改善につながります。

※3「日本人に不足しがちな栄養素を補うような素材、または工夫を含んでいる」とは？

野菜や食物繊維／カルシウム／鉄分／カリウム／EPA, DHAなどを含む食品が、積極的に食べられるメニューを採り入れていただきます。これらは「日本人の食事摂取基準（厚生労働省）」などで、日本人の食生活に足りないと言われる成分です。

② 寄付の方式と収集・管理方法

寄付の方式

対象商品が販売された際の、寄付額・率をご設定ください。

対象商品 1 つあたり●●円、もしくは売上の●%、といったかたちで設定をお願いいたします。

※寄付金額は、合計20円につき開発途上国の学校給食1食分に相当します。

1.利用者方式：規定の寄付金を加算した代金を、利用者が支払う

2.法人/団体方式：寄付金を商品代金に含めず、導入法人にご負担いただいて、寄付していただく

3.マッチング方式：1と2の組み合わせ

なお、TABLE FOR TWOは東京都より認定を受けた特定非営利活動法人で、**後述の(2)の場合を除き**ご寄付は寄付金控除の対象となります。

(1)ご寄付元が法人で寄付金として計上されている場合は、領収書の宛名に記載された法人の寄付金控除対象となります。

(2)ご寄付の負担者が商品の購入者やサービスの利用者と、かつ預かり金処理をする場合は、寄付金控除の対象となりません。

また、p.17の ◆ 領収書の発行 をご確認ください。

寄付金の収集と管理

利用者からの寄付金：代金精算の際に受領してください。寄付金は売上とは別に管理をお願いいたします。

法人/団体からの寄付金：販売数を月末に確定し、算出した金額をTFT指定口座へお振込みいただけます。

◆お申し込み

- ご参加が決定しましたら、[こちら](#)から、商品でご参加を希望される旨ご連絡ください。
- ご質問がある場合も、上記のお問い合わせページをご利用ください。
- ご連絡をいただきましたら、参加申込書をご案内いたします。
- 開始1ヶ月前くらいのタイミングでのお申し込みを推奨しています。

参加申し込み後のご案内は[p.16以降](#)をご確認ください



小売商品でのご参加が広がっています



食材の定期宅配、ドライフルーツ、店舗やネットで販売するパンやスムージー、その他の食品以外の商品等、様々な形で皆さまにTFTプログラムを導入いただいています。

下記で一般の方が購入・参加出来る商品をご紹介します。

<https://jp.tablefor2.org/individual/#TFTProgram>

◆心と体の健康増進プログラム実施に際して、最初にご検討いただきたい点

①実施内容（期間、寄付設計、実施方法）

②寄付方式の収集と管理方法

心と体の健康増進プログラムにおける2つのテーマ

- 社員の運動不足の解消や、生活習慣病の予防につながる取組
- 社員のコミュニケーション不足やメンタルヘルス不調の解消につながる取組

心の健康づくり

- ・褒め活の実施
- ・感謝カードを活用した取組

体の健康づくり

- ・ウォーキングイベントの実施
- ・健康ポイント制度を活用した取組

① 実施内容（実施期間、寄付設計、実施方法）の検討

実施期間の設定

「通年または定期的に繰り返し実施（年に2回など）」「1回のみの実施」いずれかをお選びいただけます。健康保険組合様の施策に合わせた実施事例も多く見受けられます。健康保険組合様にもご相談ください。

（通年および定期的な実施と1回のみの実施で申込方法が異なりますので、詳細はご連絡ください。）

寄付の設計

実施規模や予算に応じて、企業様ごとに寄付基準の設定をお願いしております。

<例>

1. **褒め活や感謝カードを活用した取組**：社員同士で褒め合ったり感謝の気持ちを伝え合う件数ごとに学校給食1食分（20円）を寄付
2. **ウォーキングイベントの実施**：社員の1日歩数6,000歩達成ごとに学校給食1食分（20円）を寄付、1000歩ごとに5円を寄付（歩数の設定は自由です）
3. **健康ポイント制度を活用した取組**：健康増進につながる項目達成ごとに社員に付与されるポイントを社員が寄付

実施方法の検討

様々な方法での実施事例がございますので、詳細はお問い合わせください。

<例>

1. **褒め活や感謝カードを活用した取組**：社内のコミュニケーションツールを活用する事例と社内掲示板や手書きのカード等を活用して事例がございます。
2. **ウォーキングイベントの実施**：健康保険組合が使用する既存のウォーキングアプリを使用する事例やグーグルフォーム等を活用する事例がございます。

次ページへ続きます

② 寄付の方式

実施方法の検討

以下1-3から選択いただけます。

1. **参加企業寄付方式**：参加企業にご負担いただき、寄付していただく。社会貢献を推進する部署が負担する事例と、社員の健康増進を推進する人事部や健康保険組合が負担する事例がございます。いずれも実施規模や予算に応じて寄付基準の設定をお願いいたします。
2. **参加者寄付方式**：付与されたポイント、参加料、任意で組合費や給料からの天引きなど、参加者に寄付していただく
3. **マッチング方式**：1と2の組み合わせ

なお、TABLE FOR TWOは東京都より認定を受けた特定非営利活動法人で、**後述の(2)の場合を除き**ご寄付は寄付金控除の対象となります。

(1)ご寄付元が法人で、寄付金として計上されている場合は、領収書の宛名に記載された法人の寄付金控除対象となります。

(2)ご寄付の負担者が参加者個人で、かつ預かり金処理をする場合は、法人の寄付金控除の対象となりません。

また、p.17の◆領収書の発行をご確認ください。

寄付金の収集と管理

寄付額を月末に確定し、TFT事務局へご連絡の上、TFT指定口座へお振込みいただきます。（お振込頻度は原則毎月ですが、ご相談ください。）

1回のみ実施の場合は、実施後にまとめてご連絡いただく形となります。詳細はお問い合わせください。



社員の健康増進にアプローチし、社会貢献活動と連動する 「心と体の健康増進プログラム」実施事例が広がっています

コロナ禍で在宅勤務や外出自粛が進み、これまで以上に社員自身が健康管理を行う必要性が高まっています。コロナ禍で社員食堂が閉鎖・縮小してしまっていたり、もともと社員食堂のない企業様の間で、社員の健康増進と社会貢献活動を連動させる取組として、「寄付つきウォーキングイベント」の実施や、社員同士で褒め合ったり感謝の気持ちを伝え合う件数ごとに寄付につなげる「褒め活」が増えています。

健康ポイント制度やカフェテリアプランを導入している企業様におかれましては、付与されるポイントをTFTに寄付できる仕組を取り入れている事例もあります。

下記で各社様の「心と体の健康増進プログラム」実施事例をご紹介します。

<https://jp.tablefor2.org/campaign/healthprogram>

◆お申し込み

- ご参加が決定しましたら、[こちら](#)から、心と体の健康増進プログラムでのご参加を希望される旨ご連絡ください。その際、「通年や定期的な実施」か「1回のみの実施」かお知らせください。
- ご質問がある場合も、上記のお問い合わせページをご利用ください。
- ご連絡をいただきましたら、参加申込書をご案内いたします。
- 開始1ヶ月前くらいのタイミングでのお申し込みを推奨しています。

参加申し込み後のご案内は[p.16以降](#)をご確認ください

1回のみの実施の場合は、以降の流れが異なりますので、事務局からのご案内メールをご参照ください。

■参加申込後、書類等をお送りします■

郵送でお送りするもの

◆ TABLE FOR TWOスターターキット ※食堂プログラムの場合は購入必須、それ以外は任意です。

基本セット 11,000円(税込)
(実費にて1個から追加可能)

- A2ポスター 5個
(追加の場合:330円税込/個)
- 三角POP 10個
(追加の場合:385円税込/個)



■三角POP



■A2ポスター

- ✓ 通常、お申込後1週間～10日程でのお届けとなります。
- ✓ 請求書は別途PDFにて発行いたします。
- ✓ 基本セット11,000円(税込)の中には、送料や梱包料等が含まれております
- ✓ 2回目以降、アイテムの個数を指定して追加注文された場合、アイテムごとの実費に送料・梱包料等が別途加算されます。ご了承ください。

Eメールでお送りするもの

◆ 参加企業ご担当者様専用ページのご案内

- ・ TFTからの各種お知らせ確認、寄付の管理、周知アイテムダウンロード等ができます。

◆ 販売数や寄付金お振込の連絡方法

- ・ 毎月のプログラムを通じたご寄付額は、ご担当者様専用ページ>「寄付の管理」よりご連絡ください。主担当、経過連絡ご担当、振込通知ご担当の皆さまに、ログイン情報をご案内します。
- ・ 何らかの事情でWEB入力難しい場合には、FAXもしくはメールでのご連絡をお願いしています。
- ・ **自販機の場合、管理会社の「手数料明細書」がTFT事務局へ届くようご手配いただければ、Web入力やメールでのご連絡は不要です。**

◆ 周知アイテムのご案内

- ・ プログラム実施には、ご利用者への周知が欠かせません。
- ・ ご担当者様専用ページに周知事例や周知アイテムをご用意しておりますので、利用者への周知にご活用ください。

◆ プログラム導入法人と給食会社のロゴデータ送付依頼

- ・ TFTのWEBサイトに、プログラム導入法人と給食会社/ベンダーの名前とロゴを掲載しております。
- ・ 社名やロゴの掲載を希望されない場合は、その旨を事務局までお知らせください。



■周知アイテム ページ

◆実施場所の装飾やご利用者へのコミュニケーションをお願いいたします

■プログラム開始後の流れ■

■毎月の販売数・寄付額を、月末に事務局までお知らせください（WEB入力が必要です）■

◆ 販売数の管理とご連絡

- 日々の該当商品販売数を集計し、管理をお願いいたします。
- ご担当者様専用ページ>「寄付の管理」より、
月末締めで該当商品販売数・寄付額をご入力ください。
- 自販機管理会社が発行する「手数料明細書」がTFT事務局へ届くように手配可能な場合は、そちらで代替可能です。



■寄付金のお振込額と、振込予定日のご連絡をお願いいたします（WEB入力が必要です）■

◆ 寄付金のお振込

- 毎月末に金額を確定し、翌月末日までに以下の銀行口座へお振込みください。
給食会社より直接お振込みいただく事も可能です。
- 振込タイミングを、3ヶ月ごと、半年ごと、毎年などで設定いただくことも可能です。
ご参加申込の際に、頻度をご入力ください。
- 通常はTFT事務局から請求書の発行は致しませんが、ご希望の場合はご相談ください。

<お振込先>

三菱UFJ銀行 赤坂支店 普通 1063028
トクヒ）テーブルフオートウインターナショナル

◆ 寄付金の振込予定日のご連絡

- 寄付金のお振込日が決まり次第、ご担当者様専用ページ>「寄付の管理」からご入力ください。（お振込前でも、振込日が確定次第、ご入力ください。）

◆ 領収書の発行

- 入金確認後、TFT事務局から領収書を発行いたします。（お振込月の翌月中頃）
- ご寄付元（寄付の負担者）が法人の場合は、寄付金控除文のある領収書を発行します。
- ご寄付元が購入者／利用者の領収書は、寄付金控除文のない領収書を法人のご担当者へお送りしますが、購入者／利用者様個人に対して、以下の条件を満たす場合は、寄付金控除が可能な領収書を発行することも対応しています。
 - ① 寄付者の領収書の要不要を確認し、要とした寄付者の1年分の寄付金額を纏め、弊法人の指定するExcel形式のリストで提出が可能（提出時期は1月上旬）
 - ② 寄付者の名前と住所の提供が可能
 - ③ 弊法人が発行する領収書を、該当の寄付者へ各法人を通じて配布が可能
ご希望の法人様は、TFTの指定するExcelフォーマットをご案内いたしますので、tftinfo@tablefor2.orgへメールにてご連絡ください。

■その他、ご質問がある際には、TFT事務局までお問い合わせください■

TABLE FOR TWO 事務局

お問い合わせフォーム：<https://jp.tablefor2.org/contact/#Business>

HPにはよくあるご質問も掲載しておりますので、ご参照ください。

<https://jp.tablefor2.org/contact/faq/>

■TFT事務局からは、定期的に活動報告やイベントの案内をお送りします■

Eメールでお送りします

◆支援先レポート「テーブルの向こう側から」 (年3回発行)

【テーブルの向こう側から】

- PDF形式でお送りします。
- 食堂やフリースペースに掲出いただき、ご参加くださっている皆さまへの活動報告としてご活用ください。
- ポスターだけではお伝えしきれない詳細情報を補足資料としてお送りしております。是非ご一読ください。
- バックナンバー：

<https://jp.tablefor2.org/about/report/#TFTreport>

◆ マンスリーニュース

- 支援先の様子と、日本国内でのTFTの活動状況をまとめたニュースレターを毎月配信しています。
- イントラネットへの掲載や卓上POPでのご利用をおすすめしています。
- バックナンバー：

<https://jp.tablefor2.org/about/report/#MonthlyNews>

そのほか

- ◆ 活動報告会のご案内
 - ◆ キャンペーンやイベントのご案内
 - ◆ 年次報告書
- などをお送りいたします。



【マンスリーニュース】

他にも TFT公式HP,SNSにて最新情報を発信しております。ぜひご覧下さい。

公式HP: <https://jp.tablefor2.org/>



<https://www.facebook.com/tft.jp>



https://www.instagram.com/tablefor2_official/



<https://twitter.com/tftjp>